

製品安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 : くみあい苦土マンガンほう素石灰窒素有機入り複合028
(エコマイルド028)
会社名 : 片倉コープアグリ株式会社
住 所 : 東京都千代田区九段北一丁目8番10号
担当部門 : 生産技術本部 生産技術部
電話番号 : 03-5216-6614
FAX番号 : 03-5216-6621
緊急連絡先 : 03-5216-6614
推奨用途及び使用上の制限 : 肥料

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

: 火薬類	分類対象外
: 可燃性/引火性ガス	分類対象外
: 可燃性/引火性エアゾール	分類対象外
: 支燃性/酸化性ガス	分類対象外
: 高圧ガス	分類対象外
: 引火性液体	分類対象外
: 可燃性固体	分類できない
: 自己反応性化学品	分類対象外
: 自然発火性液体	分類対象外
: 自然発火性固体	区分外
: 自己発熱性化学品	区分外
: 水反応可燃性化学品	区分外
: 酸化性液体	分類対象外
: 酸化性固体	分類対象外
: 有機過酸化物	分類対象外
: 金属腐食性物質	分類できない

健康に対する有害性

: 急性毒性(経口)	区分 4
: 急性毒性(経皮)	区分 5
: 急性毒性(吸入:ガス/蒸気/ミスト)	分類対象外
: 急性毒性(吸入:粉じん)	区分 4
: 皮膚腐食性/刺激性	区分 2
: 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
: 呼吸器感作性/皮膚感作性	分類できない
: 生殖細胞変異原性	分類できない
: 発がん性	分類できない
: 生殖毒性	分類できない
: 特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)	区分 3(呼吸器系)
: 特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)	分類できない
: 吸引性呼吸器有害性	分類できない

環境に対する有害性

: 水生環境有害性(急性)	区分 2
: 水生環境有害性(慢性)	区分 3
: オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素
絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : 飲み込むと有害(経口)
皮膚に接触すると有害のおそれ(経皮)
吸入すると有害(粉じん)
皮膚刺激
重篤な眼の損傷
呼吸器への刺激のおそれ
水生生物に毒性
長期的影響により水生生物に有害

注意書き : 【安全対策】
適切な保護眼鏡、保護マスク、不浸透性手袋、ゴム長靴、不浸透性防除衣を着用すること。
粉じんを吸入しないこと。
取り扱い後はよく手を洗うこと。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
環境への放出を避けること。

3. 組成及び成分情報

化学物質

化学物質・混合物の区別 : 混合物
化学名又は一般名、別名 : カルシウムシアナミド CaCN_2
水酸化カルシウム Ca(OH)_2
炭素 C
尿素 $\text{CO(NH}_2)_2$
塩化カリウム KCl
硫酸アンモニウム $(\text{NH}_4)_2\text{SO}_4$
りん酸二アンモニウム $(\text{NH}_4)_2\text{HPO}_4$
酸化マグネシウム MgO

成分及び含有量 : 窒素全量(TN) 10%(成分表示は保証成分に限る)
りん酸全量(TP) 12%
加里全量(TK) 8%
く溶性苦土(CMg) 3%
く溶性マンガン(CMn) 0.4%
く溶性ほう素(CB) 0.2%

CAS番号 : カルシウムシアナミド 156-62-7
水酸化カルシウム 1305-62-0
炭素 7440-44-0
尿素 57-13-6
塩化カリウム 7447-40-7
硫酸アンモニウム 7783-20-2
りん酸二アンモニウム 7783-28-0
酸化マグネシウム 1309-48-4

官報公示整理番号 : カルシウムシアナミド (化審法番号)1-121
(化審法・安衛法) 尿素 (2)-1732
塩化カリウム (1)-228

	硫酸アンモニウム	(1)－400
	りん酸二アンモニウム	(1)－379
	酸化マグネシウム	(1)－465
PRTR法	： 政令番号:77	(第一種指定化学物質)
(化学物質排出把握管理促進法)	カルシウムシアナミド	6.0%
4. 応急措置		
吸入した場合	： 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。多量の場合、医師の手当てを受ける。	
皮膚に付着した場合	： 付着部又は接触部を石鹸できれいに洗い流す。外観に変化が見られたり痛みが続く場合は医師の手当てを受ける。	
目に入った場合	： 清浄な水で15分間以上洗浄する。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。 洗眼の際、瞼を指でよく開いて眼球、瞼の隅々まで水が行き渡るように洗浄する。 直ちに医師の手当てを受ける。	
飲み込んだ場合	： 正気な場合、水か牛乳を飲ませ直ちに医師の手当てを受ける。 被災者に意識が無い場合には、口から何も与えてはならない。 また、吐かせようとしてもいけない。	
5. 火災時の措置		
適切な消火剤	： 粉末消火剤、泡消火剤、炭酸ガス消火剤	
使ってはならない消火剤	： なし	
消火方法	： 通常は水利用でよいが、消火剤も使用できる。 周辺火災の消火活動を行う。 容器を水噴霧で冷却する。 できれば容器を危険地域外に移す。	
6. 漏出時の措置		
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時処置	： 適切な保護眼鏡、保護マスク、不浸透性手袋、ゴム長靴、不浸透性防除衣を着用し拭取り回収を行うこと。	
環境に対する注意事項	： 公共用水域に流出しないように留意すること。	
回収・中和	： シート等で覆い、飛散防止を図り、容器を回収する。	
7. 取扱い及び保管上の注意		
取扱い上の注意事項	： 24時間は飲酒しない。 適切な保護具を着用する。 破袋しないよう注意する。 水濡れに注意する。	
保管上の注意事項	： 施錠して保管すること。 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。	
8. ばく露防止及び保護措置		
管理濃度	： 設定されていない。	
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)		
日本産衛学会(2005年)	： 設定されていない。	
ACGIH(2005年)	： 設定されていない。	
設備対策	： 換気を良くし、粉塵の飛散を防止する。	
保護具		
呼吸器の保護具	： 保護マスク	
手の保護具	： 不浸透性手袋	
眼の保護具	： 保護眼鏡	
皮膚及び身体の保護具	： 不浸透性防除衣、ゴム長靴	

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态、形状、色など : 淡褐色及び灰黒色。
pH : 6～7
比重又は嵩比重 : 0. 9～1. 0 (嵩比重)
溶解度 : 水に一部可溶。

10. 安定性及び反応性

安定性・反応性 : 水と反応するとアンモニアガスを発生することがある。
水と反応して、体積膨張し容器を破壊することがある。

11. 有害性情報

急性毒性 (50%致死量等含む) : ラット (経口) LD₅₀ 105mg/kg
皮膚腐食性・刺激性 : 長時間接触し発汗を伴うと、潰傷・発疹することがある。
眼に対する重篤な損傷・刺激性 : 眼を刺激し、粘膜を侵すことがある。
慢性毒性・ガン原生 : 認められていない (医薬品シアナミドによる長期投与例による)
変異原生 : データなし
その他 : 水と反応するとアンモニアガスを発生することがある。
取扱中に吸入すると咽喉や気管支に炎症を起こすことがある。
取扱中に吸入した後に飲酒すると、軽い中毒作用を起こすことがある。
(頭や上半身の充血、呼吸困難、心臓の興奮、心拍の進時には嘔吐や下痢を伴うこともある。)

12. 環境影響情報

分解性 : カルシウムシアナミドは、土壤中で容易にシアナミドを経て尿素に分解する。
魚毒性 : TLM 23ppm

13. 廃棄上の注意

: 肥料として農作物に適量撒くか、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規則 : 該当しない。
国内規則
陸上規制情報 : 該当しない。
海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報 : 航空法の規定に従う。
特別の安全対策 : 海上輸送や水濡れに注意すること。
破袋しないよう丁寧に取扱うこと。

15. 適用法令

肥料取締法 : 指定配合肥料 (肥料公定規格)
水質汚濁防止法 : 生活環境の保全に関する環境基準項目 (全窒素、全りん)
労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき有害物 (法第57条2、施行令第18条の2別表第9)
化学物質管理促進法 : 第一種指定化学物質 政令番号77号 カルシウムシアナミド

16. その他の情報

参考文献
1. 14705の化学商品 2005年 (化学工業日報社)
2. 国際化学物質安全性カード (国立医薬品食品衛生研究所)
3. GHS分類結果データベース (独立行政法人 製品評価技術基盤機構)
4. GHSモデルMSDS情報 (中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター)

記載内容のうち、含有量、物理化学的性質等の数値は、保証値ではありません。
危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅したわけではありませんので、取扱いには充分注意してください。
注意事項等は通常的な取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いの場合には、その時点のご配慮をお願いします。